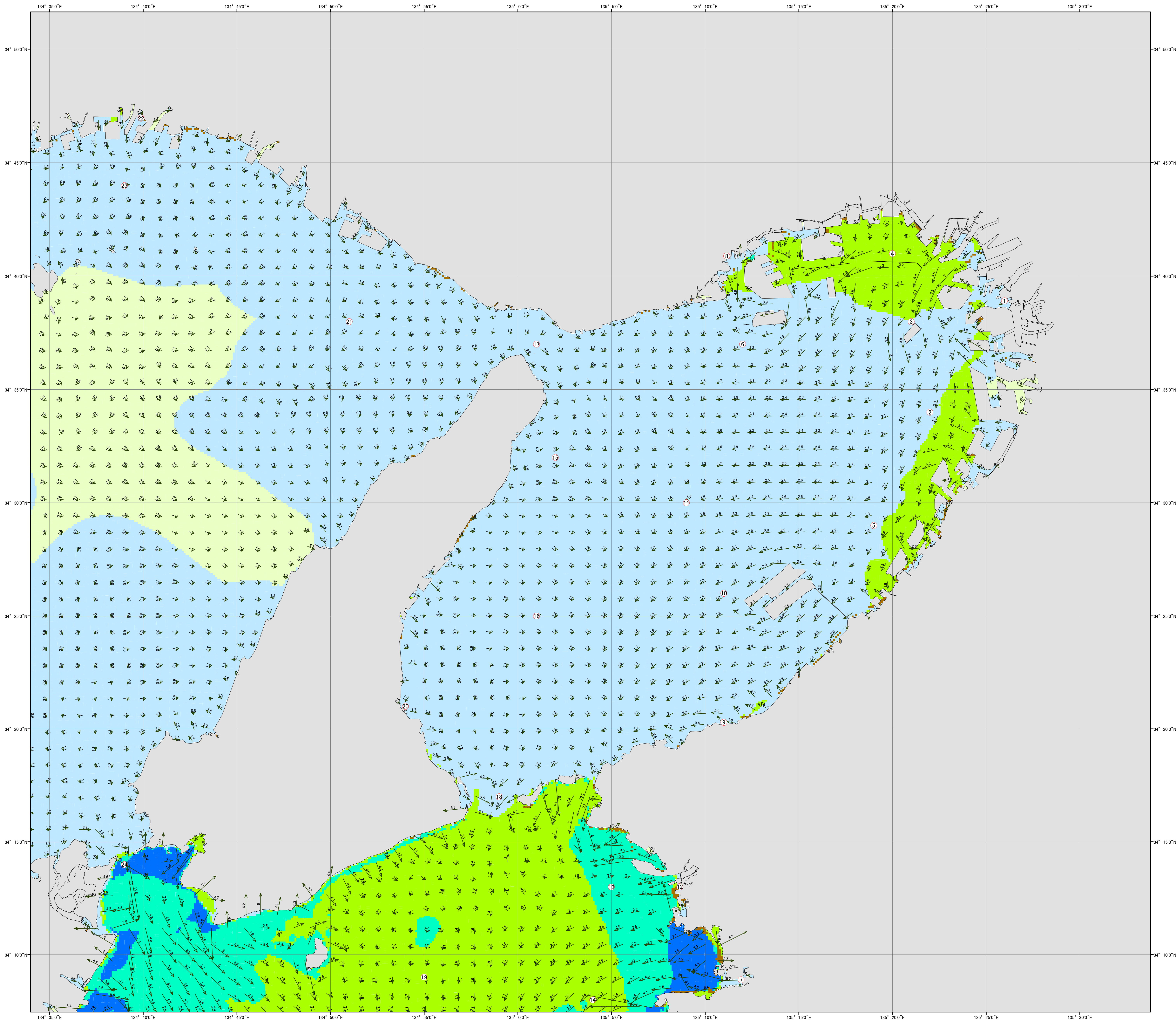


大阪湾 広域津波防災情報図 (引潮図)

計算条件: 最低水面(零位)
 隆起量: 平均 -28cm(-81cm ~ -5cm)
 Zo: 1.00m
 備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



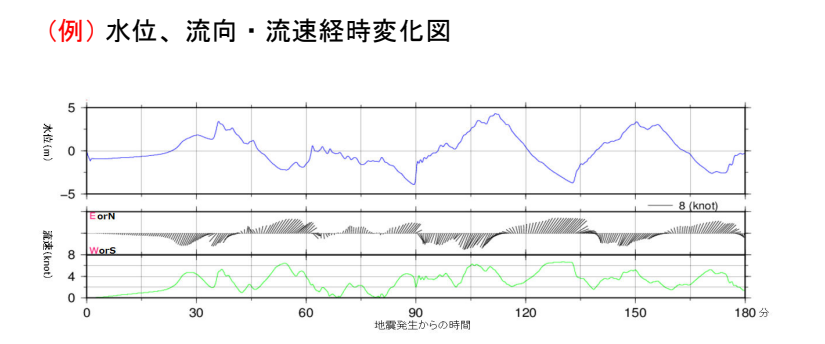
凡例

最大水位低下

- 5~最大7.6m
- 3~5m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満
- 露出域

経時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

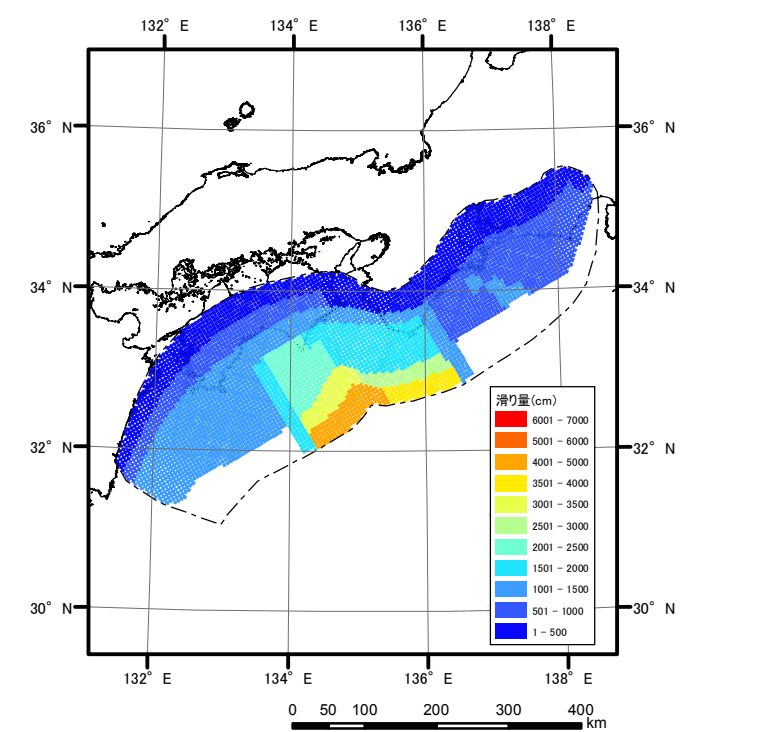


引潮時最大流 [knot]

- 6 knot
- 4 knot
- 2 knot

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断層モデル

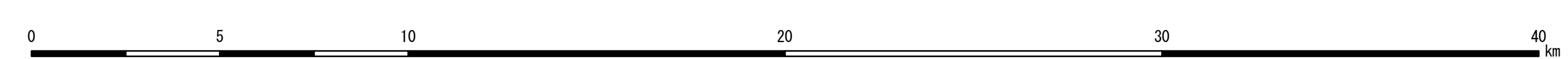


ケース③「紀伊半島沖~四国沖に『大すべり域+超大すべり域』」

断層面積 S (km ²)	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	6.4 X 10 ²²
平均すべり量 D (m)	10.9
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会(第二次報告)(平成24年8月29日発表)」により公表されたものである。
 使用した断層モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基礎地図情報5mメッシュ(標高)及び10mメッシュ(標高)(国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日)



作成機関: 国土院 海上保安庁
 数字情報制作年度: 平成25年1月(初版)
 地図データ作成年度: 平成15年1月(初版)
 改訂年度: 平成25年1月(改訂)